

---

# 少年X

鎌学 文芸部

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

少年X

### 【Nコード】

N2274I

### 【作者名】

鎌学 文芸部

### 【あらすじ】

少年は階段をのぼる  
屋上に向かっている  
その建物で、一番高いところ

(前書き)

久方ぶりの投稿です

こちらにも載せているので、是非お立ち寄りください

another passageです

<http://kamaagakubungeibu.jimdod.com/>

わたくしは階段を手すり伝いに上って行きまして、屋上に通ずる扉までやってまいりました。本来堅固に閉ざされているはずの錠も、たむろする不良の輩に壊されてしまったのでしよう、わたくしは迎え入れるようにして屋上へ出させていただきました。風は季節ながら、春一番と呼べるものでしょうか。強くわたくしの体を柵へ柵へと押しているのです。

そこまで、と思い、わざと相反するようにつそりとした足取りで柵までたどり着くと、背後で講義を抜けてきたのでしよう不良の輩が、ケタケタとのを細くしてやっと出るようなかすれた笑い声でわたくしに声をかけてきたのです。わたくしはその品のない言葉にも背を向け、ズボンの裾を引つ掛けないように気をつけながら柵を乗り越え、一間程度の出張ったそこへ降り立ちました。そうすると、輩の声色も怪しくなります。

目下では、かの悪名高き体育教師が女子生徒にトラックを何周も何周も走らせ、その傍ら下劣にもちよつかいを出しておりました。わたくしは許せませんでした。彼方に広がる大空を抱くように手を広げ、叫びました。それに気づいた女子生徒がわたくしを見上げ、きやあとまた、のどを細くして悲鳴をあげました。

「飛べ」

背後にはいつのまにか、教師生徒が大勢集まっております。おろろとする、なんとも情けない輩が、その隅でたばこの火を踏みけしております。

「とべ」

口々に群衆はわたくしになげやりに言うのです。一斉に顔を歪め、憐れむ目でわたくしを見るのです。

なるほど、たしかにわたくしは嫌われておりました。しかし、これがわたくしに相当する最期とは違うのです。望むべきところでは

ないのです。

飛び降りるのは容易ではありませんが、容易なことを安直にしないのがこれ凡人とはわけが違いますので、わたくしはいささか飛ぶ気持を失くしてしまっていました。他人に言われれば言われるほど言われたことに対して反感を持つようになるのは人間心理において重要なことでもあります。

しかし、またこれ凡人とは違いますわけで、よく聞けばその「とべ」の声は、わたくしの名前「戸辺」のことだと気付くことができました。目下のグラウンドに集まる群衆も、背後の衆人も、わたくしのその偉大な名前を叫んでいるのです。

振り返れば、衆人は手拍子に合わせてわたくしの名を呼び続けています。

答える代りにわたくしはこの自らの両腕を大きく広げました。拍手が乱れ咲き、わたくしを覆い包みます。

嗚呼、これほどまでにわたくし幸せに思わせることが、生を持つる今にありますとは！

わたくしは体を反らせて、偉大なる大神であられまする太陽を仰ぎ見、地に向かいます。

拍手はいよいよ喝采し、歓声は滞りなく世に満たされますでしょう。

まず、始めの衝撃は、頭頂部から参ります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2274i/>

---

少年X

2010年12月21日15時00分発行